

# 2023年3月期 第3四半期 決算補足資料

---

2023年2月8日



**ダイワホールディングス株式会社**

(証券コード : 3107)

## 2023年3月期 第3四半期 (2022年4月1日～2022年12月31日)

ITインフラ流通事業の需要獲得が牽引し増収増益  
納期遅延等の影響は解消の兆し

### ITインフラ流通事業

円安による仕入原価上昇の影響を受けたものの、半導体不足に起因した納期遅延の影響は徐々に解消されつつあり需要獲得に注力  
企業・官公庁向けは主にPCやネットワークが増加しサブスクリプション製品も好調に推移、文教向けにおいても高校の生徒用端末や小中学校の教職員用端末の需要が拡大、コンシューマ向け市場は家電量販店向けが好調に推移し前年を上回る

### 繊維事業

建築シート関連商品や環境負荷の少ないレーヨン等の販売は堅調に推移したものの、事業全般で原燃料高や円安に伴うコストアップの影響により利益面で苦戦

### 産業機械事業

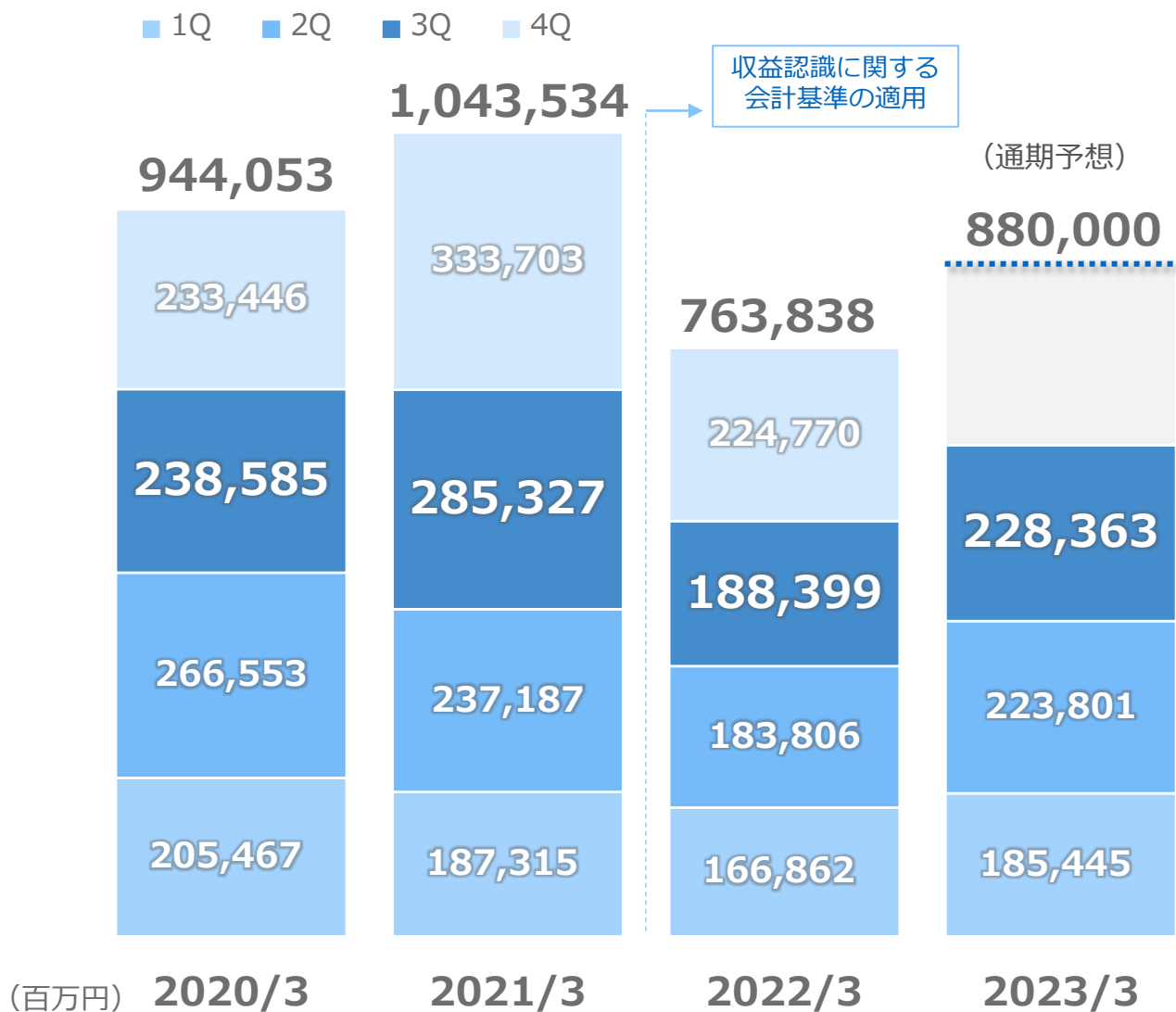
風力発電をはじめとするエネルギー業界や半導体、建設機械、医療機器等の幅広い業界への出荷やサービス体制の強化により増収増益

# 2023年3月期 通期業績予想

(百万円)	2022/3 (実績)	2023/3		増減額 ※	前期比 ※
		期初予想 (5/12開示)	修正予想 (2/8開示)		
<b>売上高</b>	763,838	830,000	<b>880,000</b>	+116,161	+15.2%
ITインフラ流通	691,281	754,820	<b>805,000</b>	+113,718	+16.5%
繊維	58,289	62,060	<b>62,300</b>	+4,010	+6.9%
産業機械	11,610	12,480	<b>12,000</b>	+389	+3.4%
<b>営業利益</b>	24,059	27,360	<b>27,500</b>	+3,440	+14.3%
ITインフラ流通	21,651	23,700	<b>24,820</b>	+3,168	+14.6%
繊維	1,617	2,760	<b>1,705</b>	+87	+5.4%
産業機械	656	890	<b>890</b>	+233	+35.7%
<b>経常利益</b>	24,554	27,500	<b>27,900</b>	+3,345	+13.6%
親会社株主に帰属する <b>当期純利益</b>	16,988	18,600	<b>19,000</b>	+2,011	+11.8%

※修正予想の対前期比較

# 2023年3月期 3Q累計 売上高



売上高 **637,610**百万円

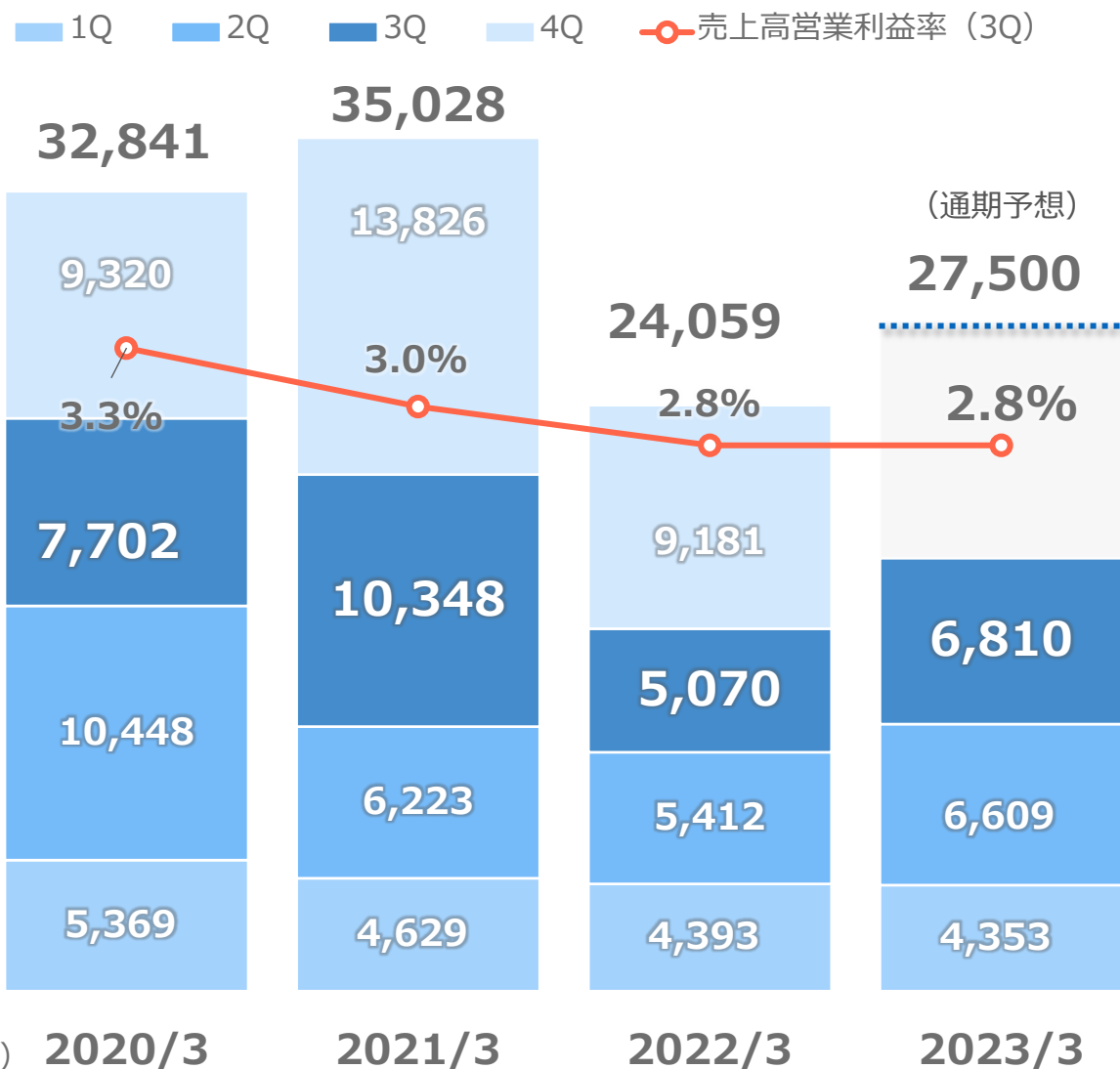
前年同期比 + **18.3%**

進捗率 **72.5%** (期初予想 76.8%)

▶ 取扱高 **678,729**百万円  
前年同期比 + **15.4%**

※「収益認識に関する会計基準」の適用については参考資料に記載しています。

# 2023年3月期 3Q累計 営業利益



営業利益 **17,774**百万円

前年同期比 + **19.5%**

営業利益率 **2.8%**

進捗率 **64.6%** (期初予想 65.0%)

# 2023年3月期 3Q累計 連結決算概況

(百万円)	2022/3 3Q	2023/3 3Q	増減	前期比	修正予想 (2/8開示)	進捗率
売上高	539,068	<b>637,610</b>	+98,541	+18.3%	880,000	71.3%
営業利益	14,877	<b>17,774</b>	+2,897	+19.5%	27,500	64.6%
経常利益	15,066	<b>18,209</b>	+3,142	+20.9%	27,900	65.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10,478	<b>12,398</b>	+1,919	+18.3%	19,000	65.3%
1株当たり 四半期純利益 (円)	109.78	<b>131.67</b>				

(百万円)	2022/3	2022/12	増減	主な増減理由
総資産	356,203	<b>390,845</b>	+34,641	売掛債権、在庫等の増加
純資産	136,173	<b>137,695</b>	+1,521	利益剰余金の増加
自己資本比率	38.0%	<b>35.0%</b>		

# 2023年3月期 3Q 連結貸借対照表 (決算短信P4-5)

(百万円)	2022/3	2022/12	増減		2022/3	2022/12	増減
<b>流動資産</b>	304,134	<b>337,442</b>	+33,307	<b>流動負債</b>	191,564	<b>223,568</b>	+32,004
現金及び預金	46,963	<b>49,817</b>	+2,853	支払手形及び買掛金	161,859	<b>187,907</b>	+26,047
受取手形及び売掛金	202,408	<b>216,630</b>	+14,221	短期借入金	12,589	<b>14,954</b>	+2,365
商品及び製品	38,478	<b>52,983</b>	+14,504	<b>固定負債</b>	28,465	<b>29,581</b>	+1,115
<b>有形固定資産</b>	38,272	<b>38,198</b>	△73	長期借入金	14,895	<b>11,989</b>	△2,905
<b>無形固定資産</b>	2,462	<b>2,165</b>	△297	<b>負債合計</b>	220,030	<b>253,150</b>	+33,119
<b>投資その他の資産</b>	11,333	<b>13,038</b>	+1,704	<b>純資産合計</b>	136,173	<b>137,695</b>	+1,521
				自己株式	△2,123	<b>△5,137</b>	△3,013
<b>資産合計</b>	356,203	<b>390,845</b>	+34,641	<b>負債純資産合計</b>	356,203	<b>390,845</b>	+34,641

受取手形及び売掛金	202,408	→	<b>216,630</b>	+14,221	DIS売掛債権の増加
商品及び製品	38,478	→	<b>52,983</b>	+14,504	DIS在庫の増加
借入金合計	27,484	→	<b>26,943</b>	△540	

# 2023年3月期 3Q累計 連結損益計算書 (決算短信P6)

(百万円)	2022/3 3Q		2023/3 3Q		増減	前期比
	実績	率	実績	率		
<b>売上高</b>	539,068		<b>637,610</b>		+98,541	+18.3%
売上総利益	44,682	8.3%	<b>48,910</b>	<b>7.7%</b>	+4,227	+9.5%
販売費及び一般管理費	29,805	5.5%	<b>31,136</b>	<b>4.9%</b>	+1,330	+4.5%
<b>営業利益</b>	14,877	2.8%	<b>17,774</b>	<b>2.8%</b>	+2,897	+19.5%
<b>経常利益</b>	15,066	2.8%	<b>18,209</b>	<b>2.9%</b>	+3,142	+20.9%
特別利益	342 ※		<b>58</b>			
特別損失	51 ※		<b>44</b>			
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	10,478	1.9%	<b>12,398</b>	<b>1.9%</b>	+1,919	+18.3%

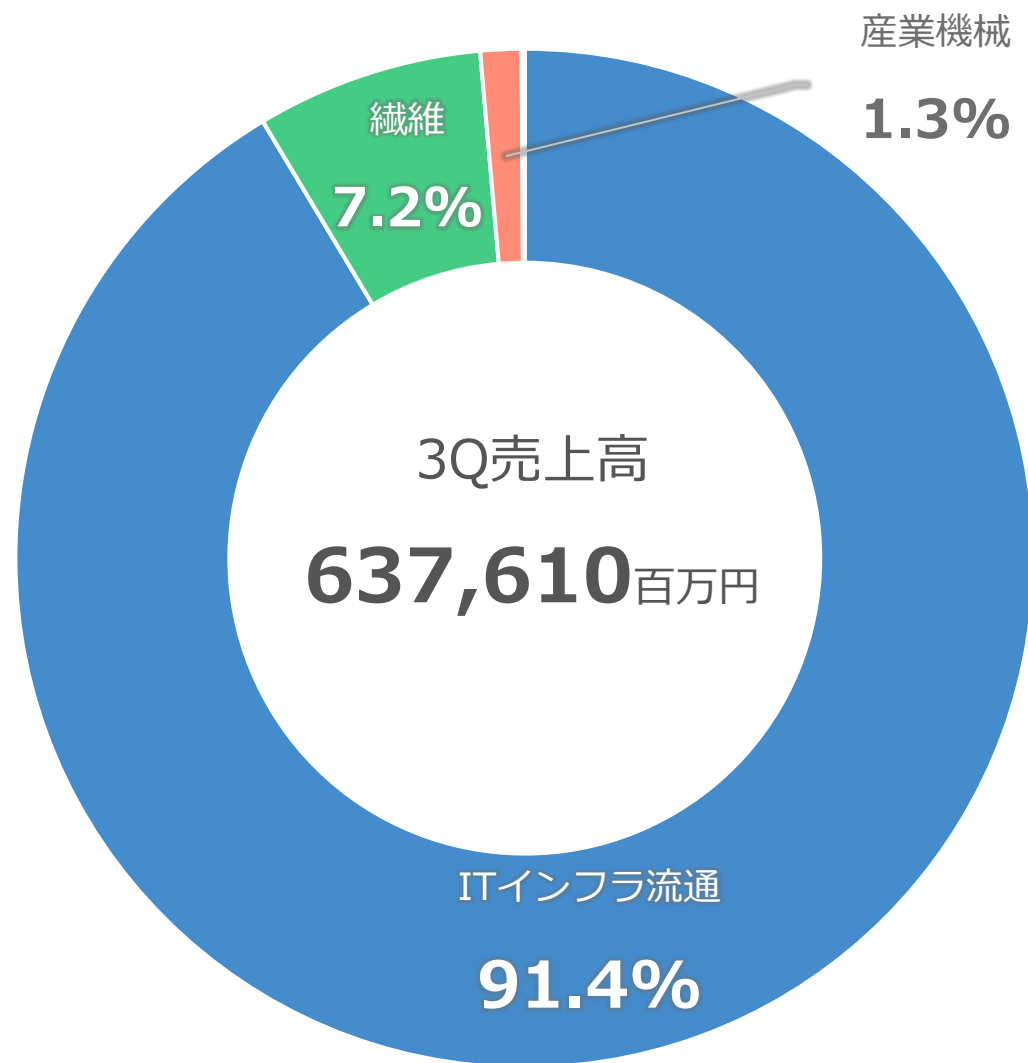
※前期特別利益 投資有価証券売却益（319百万円）、その他（23百万円）

※前期特別損失 固定資産除却損（40百万円）



# 2023年3月期 3Q累計 セグメント別業績

(百万円)		2022/3 3Q	2023/3 3Q	増減	前期比
売上高	ITインフラ流通	485,355	<b>582,817</b>	+97,461	+20.1%
	繊維	43,446	<b>45,713</b>	+2,267	+5.2%
	産業機械	7,827	<b>8,527</b>	+699	+8.9%
	その他	2,439	<b>551</b>	△1,887	△77.4%
	合計	539,068	<b>637,610</b>	+98,541	+18.3%
営業利益	ITインフラ流通	12,981	<b>16,270</b>	+3,288	+25.3%
	繊維	1,394	<b>786</b>	△608	△43.6%
	産業機械	354	<b>603</b>	+249	+70.4%
	その他	144	<b>81</b>	△63	△43.7%
	(調整額)	3	33		
	合計	14,877	<b>17,774</b>	+2,897	+19.5%

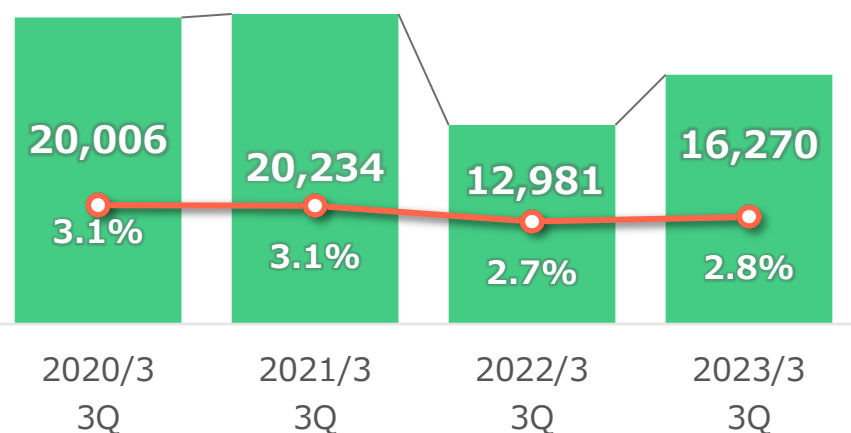
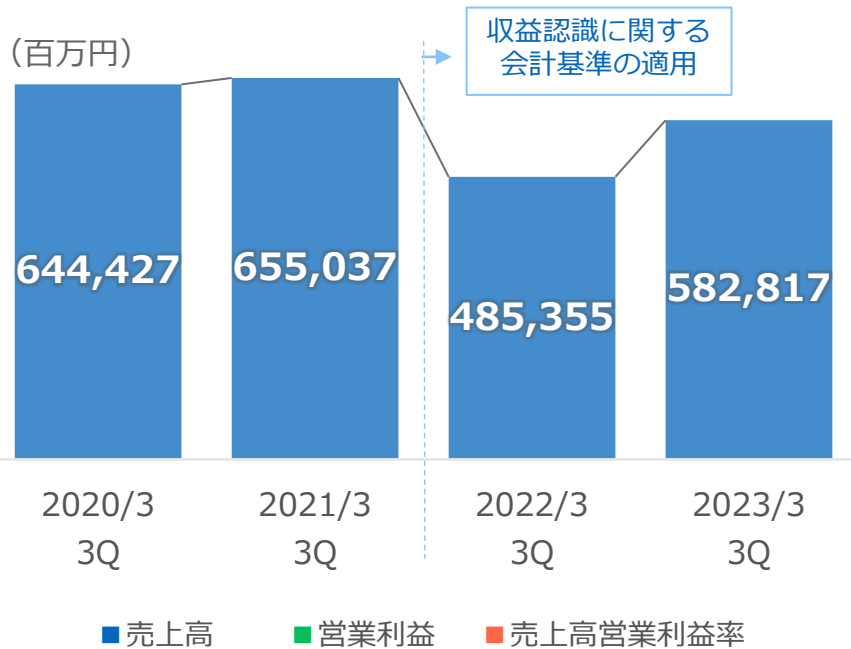


## 売上高構成割合

	2022/3 3Q	2023/3 3Q
ITインフラ流通	90.0%	<b>91.4%</b>
繊維	8.1%	<b>7.2%</b>
産業機械	1.5%	<b>1.3%</b>

## 営業利益構成割合

	2022/3 3Q	2023/3 3Q
ITインフラ流通	87.3%	<b>91.5%</b>
繊維	9.4%	<b>4.4%</b>
産業機械	2.4%	<b>3.4%</b>



取扱高 ※旧基準売上高 **623,936**百万円 (前期比+**16.7%**)

売上高 **582,817**百万円 (前期比+**20.1%**)

営業利益 **16,270**百万円 (前期比+**25.3%**)

PC出荷台数 **218.1**万台 (前期比+**8.3%**)

サーバー出荷台数 **4.6**万台 (前期比+**10.9%**)

サブスクリプション取扱高 **62,545**百万円 (前期比+**21.7%**)

iKAZUCHI(雷)取扱高 **14,398**百万円 (前期比+**35.9%**)

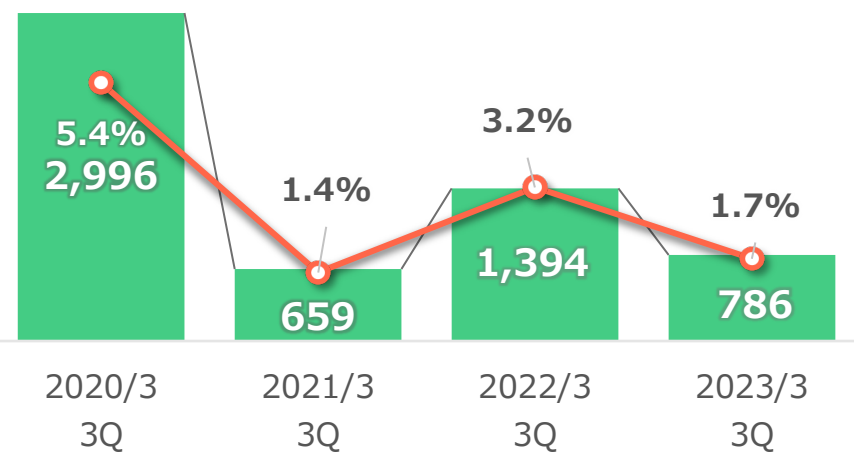
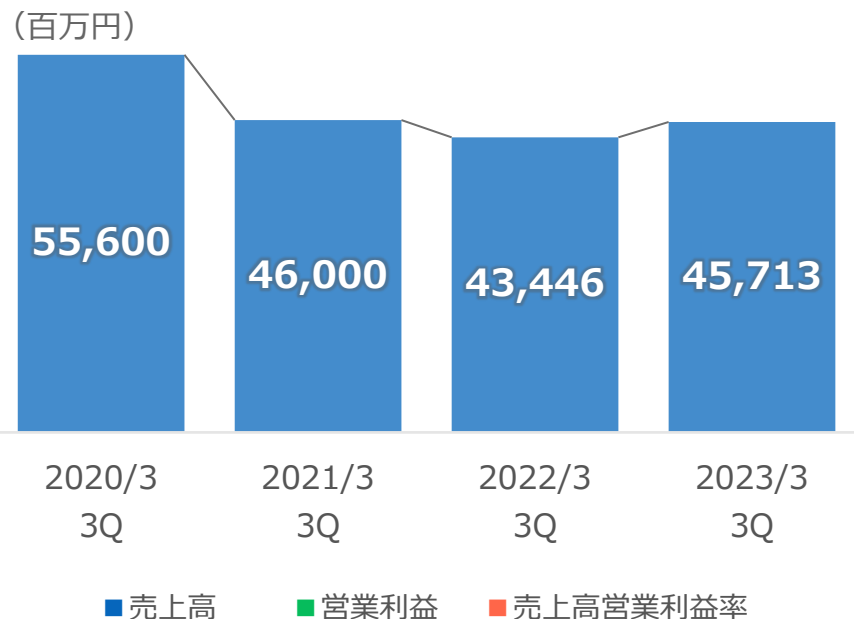
## 事業概況

### コーポレート向け市場

- 企業・官公庁向けは安定的に受注を獲得し、主にPCやネットワーク製品が増加、需要の高まりを見せているサブスクリプション製品の契約増加により、ソフトウェアを中心としたクラウドサービスも順調に拡大
- 文教市場では高校向け生徒用端末や、小中学校の教職員用端末案件獲得により好調に推移

### コンシューマ向け市場

- EC向けの販売はストレージや家電、AV機器の販売に苦戦するも、家電量販店向けの販売は、PCや新規商材を中心に好調に推移し前年を上回る



売上高

**45,713**百万円 (前期比+5.2%)

営業利益

**786**百万円 (前期比△43.6%)

## 事業概況

### 合織・レーヨン部門

■ 円安の影響による合織原綿の輸出増加と難燃レーヨン素材のアジア各地での採用により売上は堅調も原燃料価格高騰による影響が継続しており利益面では苦戦

### 産業資材部門

■ 旺盛な建築需要により建築シート関連商品の受注が好調で、ゴム製品が堅調を維持したことにより収益は改善

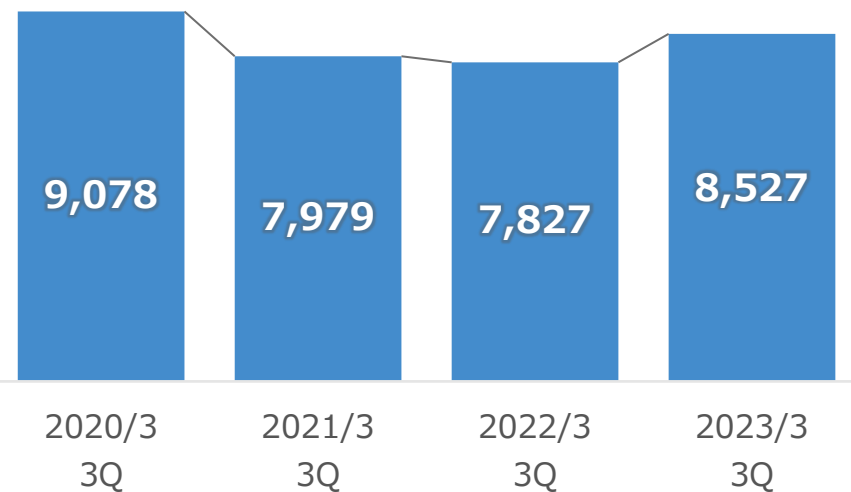
### 衣料製品部門

■ 国内アパレルの受注は増加したものの、米国向け販売の減速やコスト上昇分の価格転嫁が後追いとなり減益

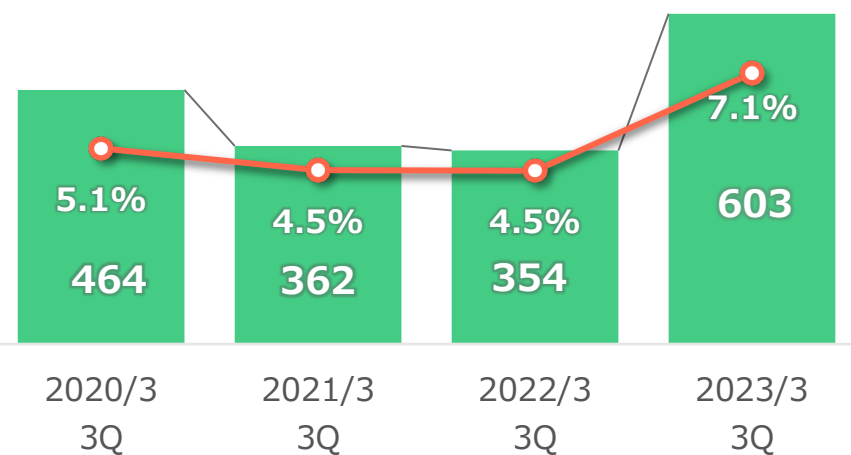
【ご参考】 21/3 2Qに不適切取引の影響額を反映しております (2020/12/11開示)

	2021/3 3Q	
	影響額	影響除外時
売上高	△640百万円	46,641百万円
営業利益	△1,994百万円	2,654百万円

(百万円)



■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 売上高営業利益率



売上高

**8,527**百万円 (前期比+**8.9%**)

営業利益

**603**百万円 (前期比+**70.4%**)

## 事業概況

### 工作機械部門

- 日本工作機械工業会の4~12月受注総額は前期比7.6%増となる中、風力発電や高効率ガスタービンで需要のあるエネルギーや、半導体、建設機械、医療機器等幅広い業界からの需要を獲得し増収増益
- 受注高は前期比17.4%増加

### 自動機械部門

- 物価上昇に伴う部品価格の高騰や調達部品の長納期化の影響により、顧客の設備投資に慎重な姿勢は継続しており、収益共に苦戦
- 受注高は前期比3.8%増加

# 株主還元

1株配当

自己株式取得

配当性向

総還元性向

## 2022年3月期

中間 30円  
 期末 30円  
 年間 60円

約20億円 (2021/5/14~8/31)

33.7%

45.4%

## 2023年3月期 (予想)

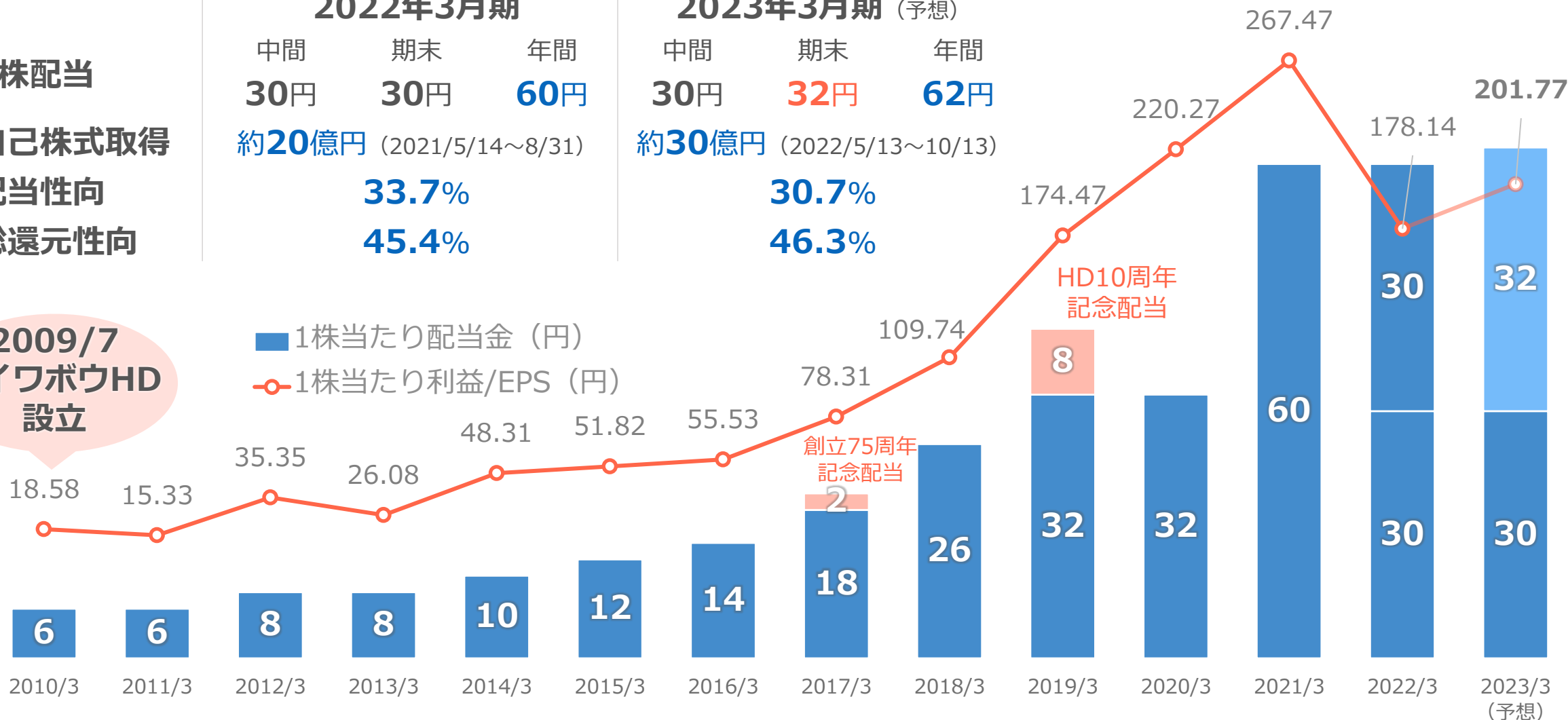
中間 30円  
 期末 32円  
 年間 62円

約30億円 (2022/5/13~10/13)

30.7%

46.3%

2009/7  
 ダイワボウHD  
 設立



※株式併合 (2017/10/1) ・株式分割 (2021/4/1) を過年度に遡及して表示

## TCFD提言への対応

- 1月：CO<sub>2</sub>排出量の削減目標を公表
- 4月：TCFD提言への賛同表明およびTCFDコンソーシアムへの加盟
- 6月：TCFD提言に基づく情報を開示



主なリスク		想定される主な取り組み
政策/法的	炭素価格などコスト増加	低炭素エネルギーへの移行
技術	研究開発コスト増加	外部研究機関との連携
急性	災害による操業停滞	BCP対策強化
主な機会		想定される主な取り組み
製品・サービス	気候変動の緩和や適応に資する商品・サービスの提供	将来のIT需要を見込んだ仕入計画策定
		生分解性素材や防災・減災商品の拡販
		省エネ・油圧レス・自動化等の商品展開

## ESG外部評価

2022年、MSCI ESG 評価で「BBB」の評価を受けました



※1

GPIF 5つのESG指数のうち、下記2つの構成銘柄に採用されています

2022 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN) ※2



※1ダイワボウホールディングス株式会社による MSCI ESG リサーチ LLC またはその関連会社 (“MSCI”) のデータの使用、および MSCI のロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIによるダイワボウホールディングス株式会社の後援、承認、推薦、またはプロモーションを意味するものではありません。 MSCIのサービスおよびデータはMSCIまたはその情報提供者の所有物であり、「現状のまま」提供され、保証はありません。 MSCIの名称およびロゴは、MSCIの商標またはサービスマークです。

※2 ダイワボウホールディングス株式会社のMSCI指数への組入れ、および本リリースにおけるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたは指数名称の使用は、MSCIまたはその関連会社によるダイワボウホールディングス株式会社への後援、保証、販促には該当しません。 MSCI指数はMSCIの独占的財産です。 MSCI指数の名称およびロゴはMSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

## 【参考資料】

- ▶ 収益認識基準の影響
- ▶ 業績推移グラフ



# 収益認識に関する会計基準の適用について

2022年3月期より企業会計基準第29号「**収益認識に関する会計基準**」を適用し、主にITインフラ流通事業の一部取引について売上高の計上方法を変更

		2022/3 (実績)	2023/3 (期初予想)	増減
(概算：億円)				
売上高	①旧基準	8,287	8,910	+622 +7.5%
	②新基準	7,638	8,300	+661 +8.7%
	②-①	△648	△610	
営業利益		240	273	+33 +13.7%
営業利益率	①旧基準	2.9%	3.1%	
	②新基準	3.1%	3.3%	

## <主な変更点>

### ■ 代理人取引に係る収益認識

ITインフラ流通事業における**保守・保証サービス、ソフトウェア（継続課金等）販売**などの取引の一部について、販売先への商品・サービスの提供における当社の役割が、会計基準上の「**代理人**」に該当するため収益認識の方法を変更

【旧基準】：販売対価の**総額** (A) を売上計上



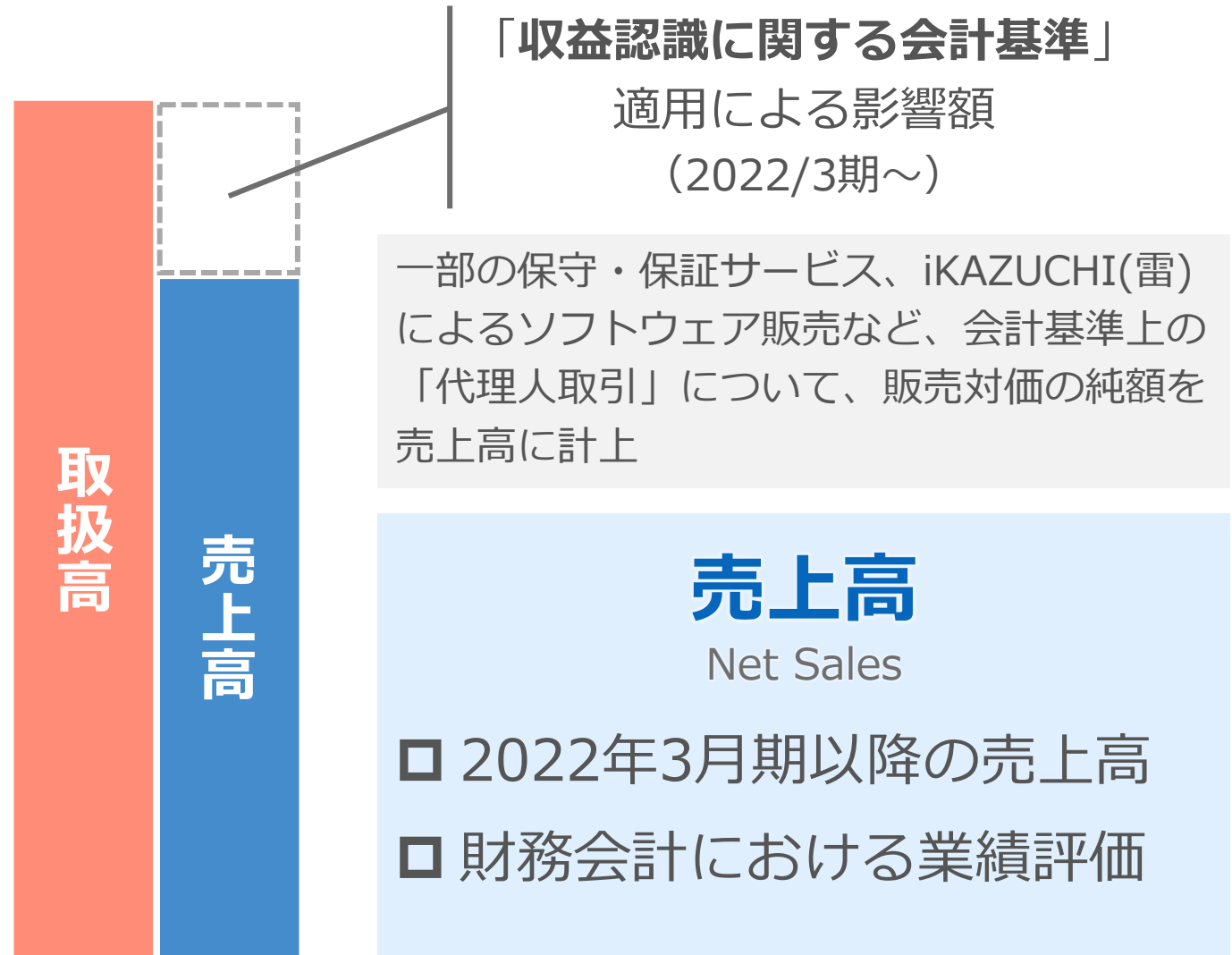
【新基準】：販売対価の**純額** (A-B) を売上計上



## 取扱高

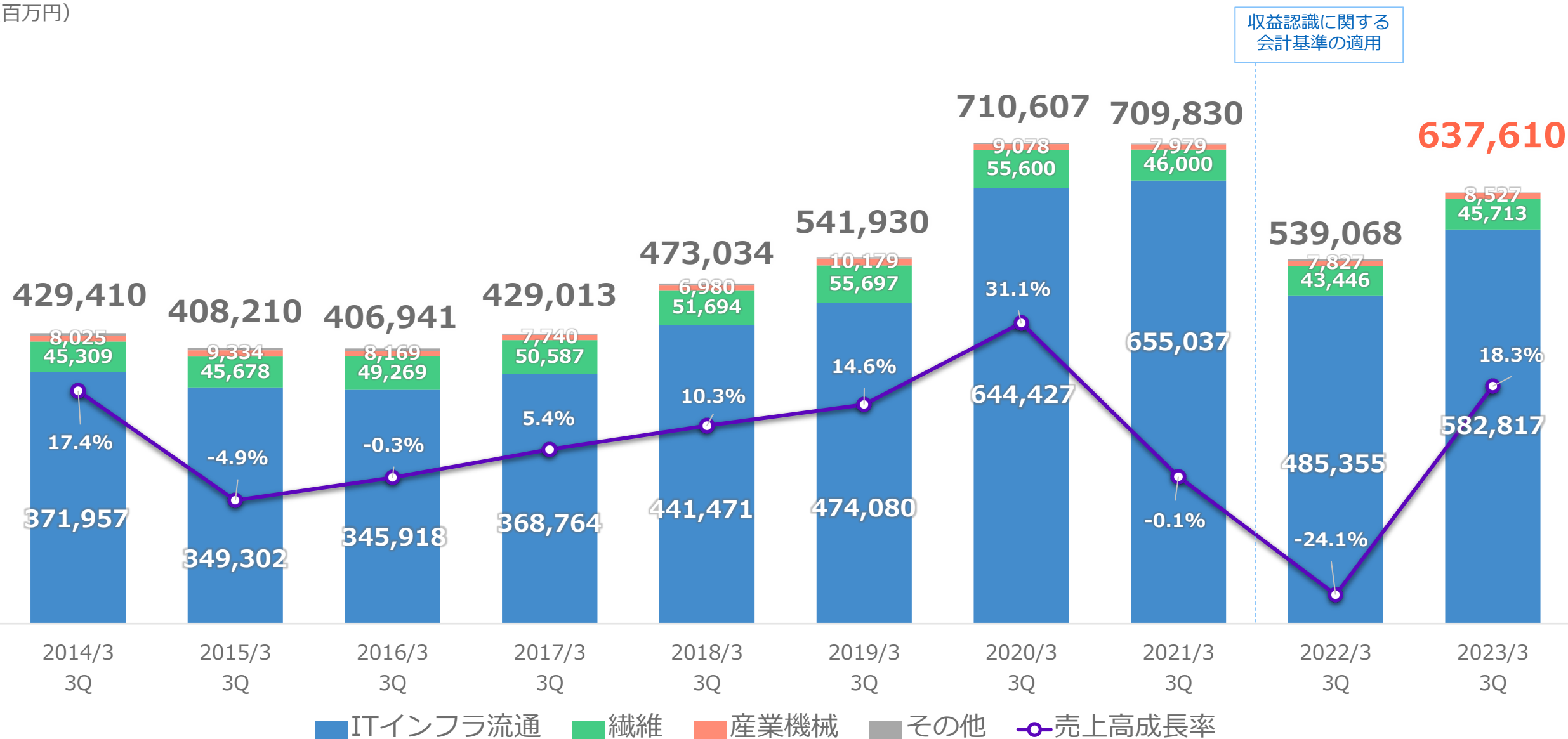
Transaction Volume

- 2021年3月期以前の売上高と同じ基準で算出  
(= 会計基準変更前の売上高)
- 取引規模を示す上で重要な指標となるため「取扱高」として継続して活用
- 管理会計における営業評価



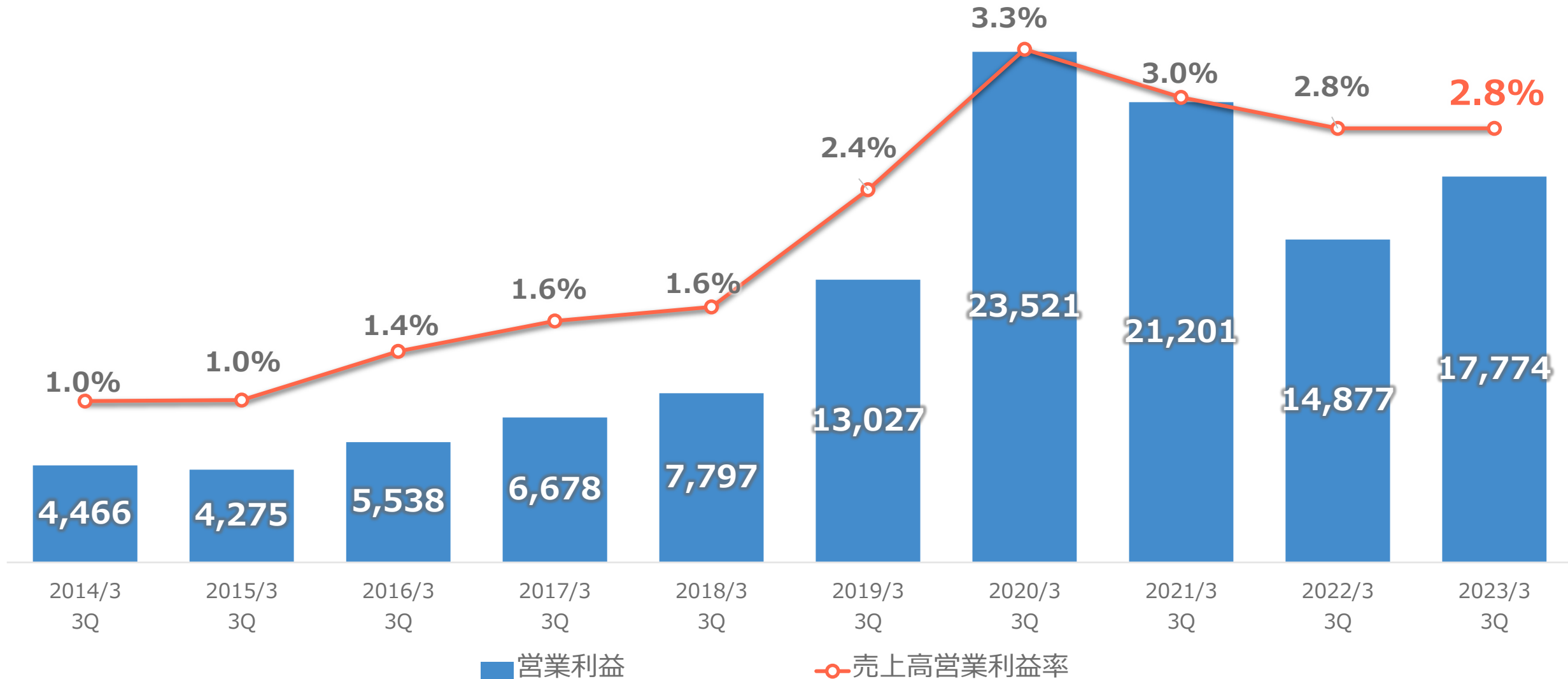
# 連結売上高 (3Q累計期間)

(百万円)



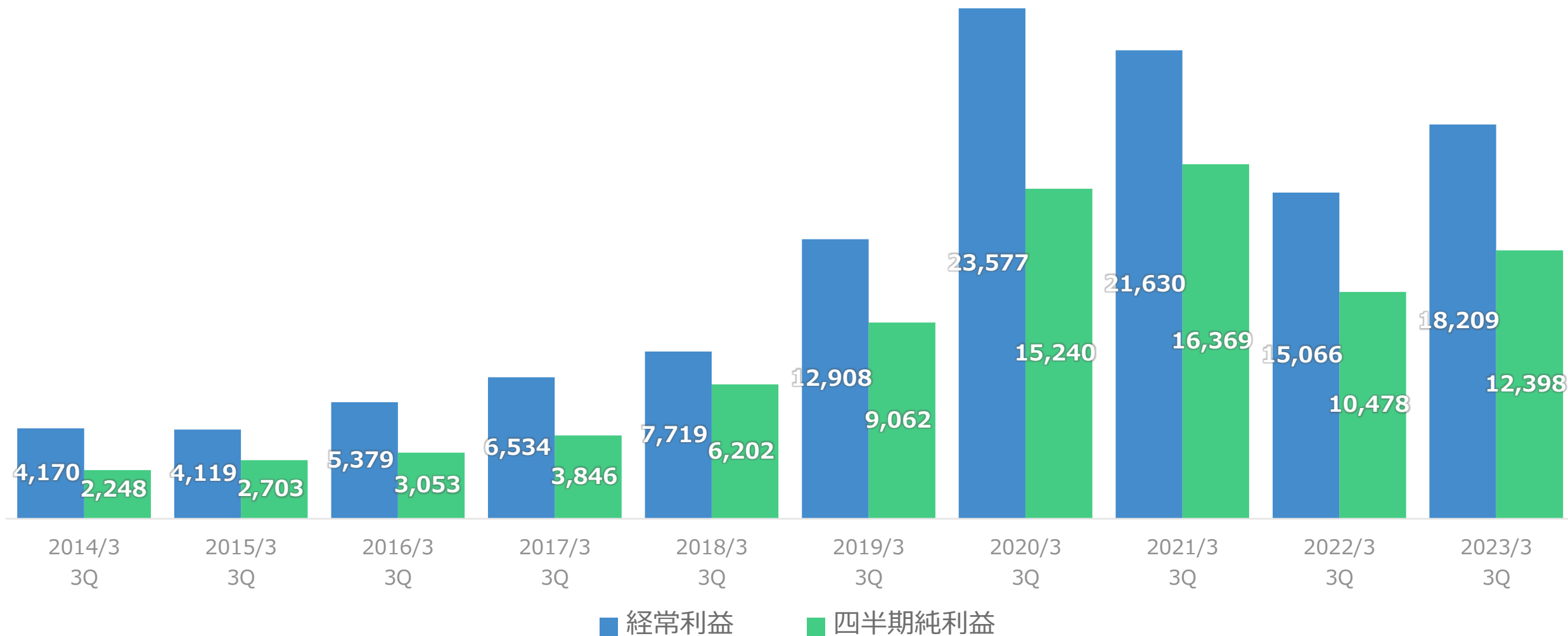
# 連結營業利益 (3Q累計期間)

(百万円)



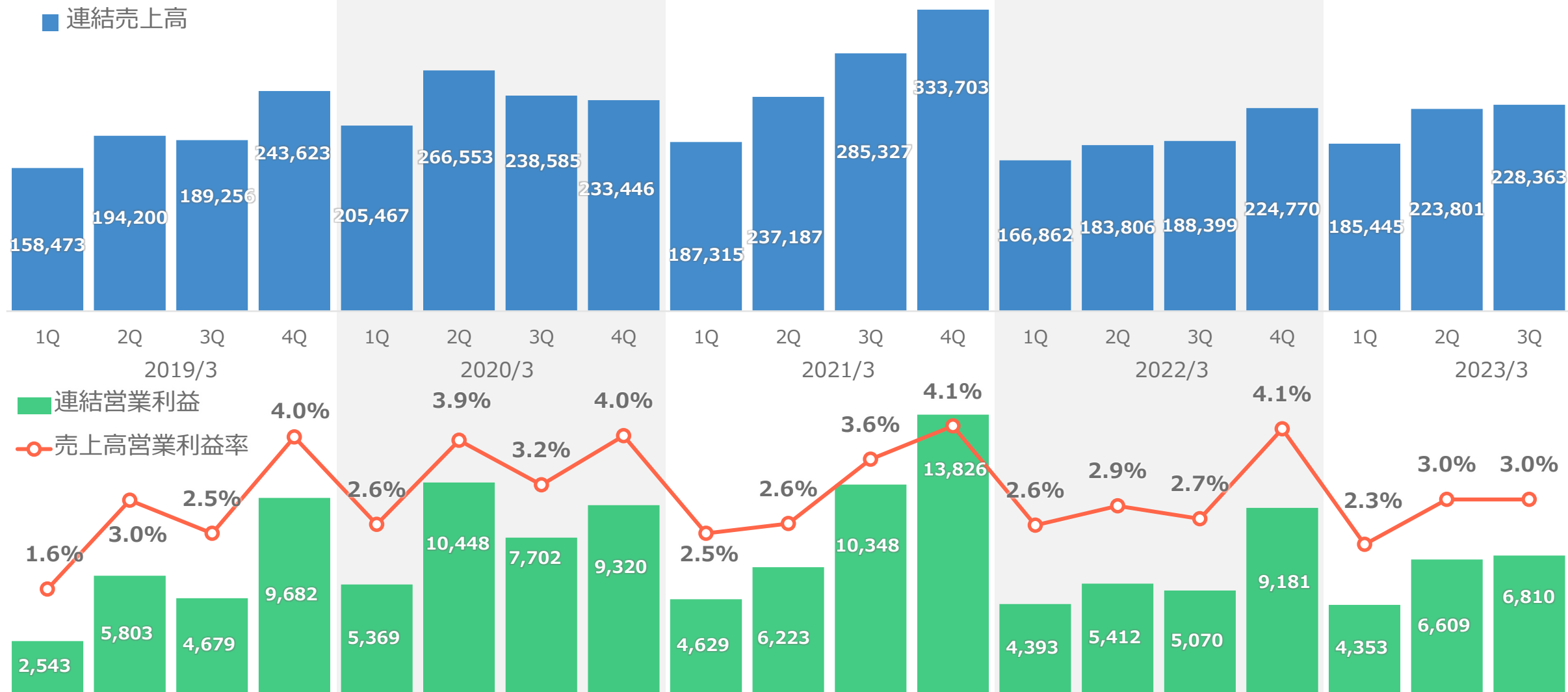
# 連結經常利益・連結四半期純利益（3Q累計期間）

(百万円)



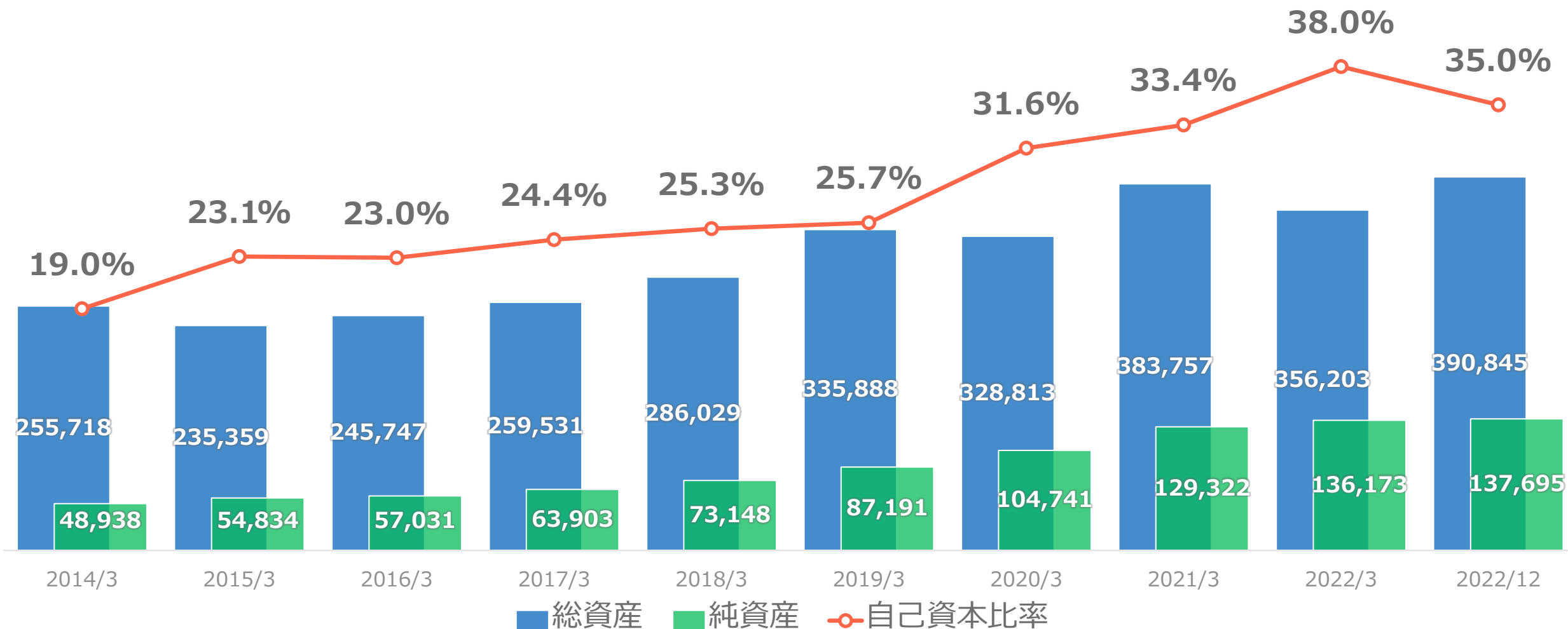
# 四半期別業績

(百万円)



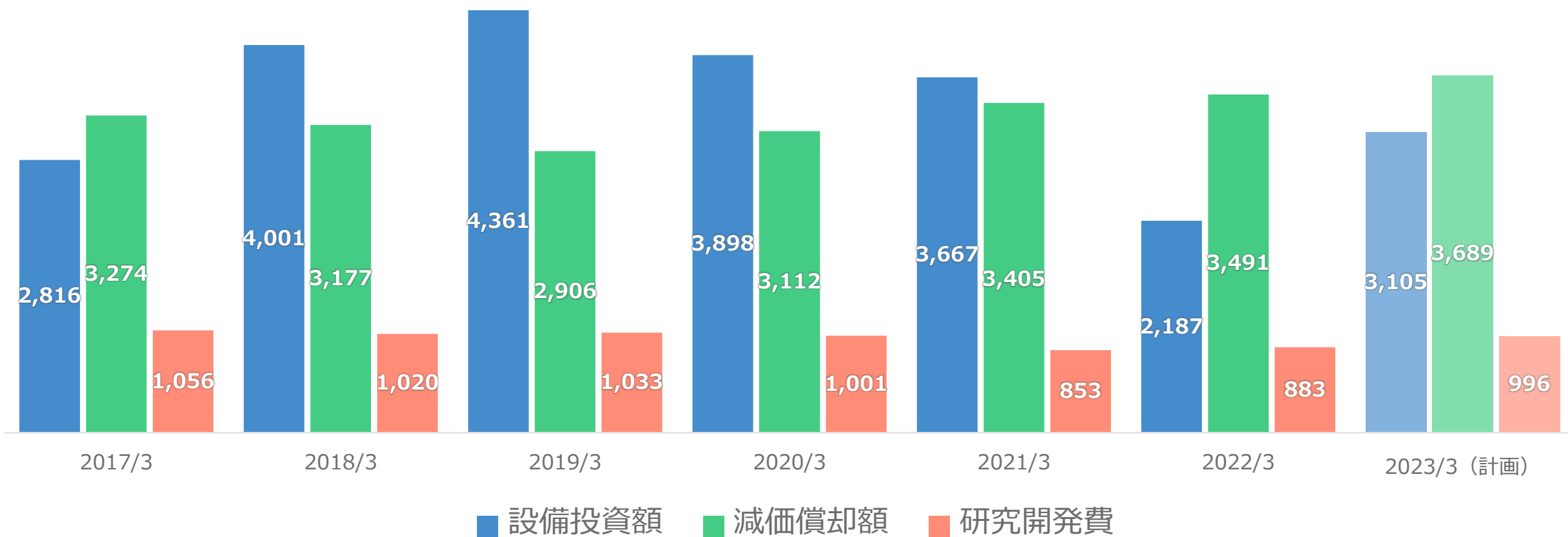
# 連結総資産・連結純資産・自己資本比率

(百万円)



# 設備投資額・減価償却額・研究開発費

(百万円)





<https://www.daiwabo-holdings.com/>



ダイワボウホールディングス株式会社

### 【免責事項】

本資料に記載された業績予想値等の将来に関する記述は、現在入手可能な情報をもとに、当社が現時点で合理的であると判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、その正確性を保証するものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因により本資料の内容と異なる可能性のあることをご承知おきください。なお、当社は理由の如何にかかわらず、本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても責任を負うものではありません。

※本資料中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。